

救急・救助統計



救 急 救 助 統 計

救急出動件数

平成27年中の救急出動件数は6,524件（1日平均の出動件数は17.9件）で、前年と比べ139件（2.2%）の増加となりました。事故種別の内訳は、急病が4,202件（64.4%）と最も多く出動件数の半数以上を占めています。次いで一般負傷が741件（11.4%）、交通事故が713件（10.9%）の順になっています。また、救急搬送人員についても、前年と比べ146人（2.4%）の増加で6,168人となりました。年齢区分から見ると、高齢者（65歳以上）の救急搬送人員が、前年と比べ181人増加の3,329人となりました。これは救急搬送人員全体の54.0%を占めています。

バイスタンダー（その場に居合わせた者）の重要性

突然倒れた傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには「救命の連鎖」が必要不可欠です。この「救命の連鎖」は、①心停止の予防②心停止の早期認識と通報③一次救命処置（心肺蘇生とAED）④二次救命処置と心拍再開後の集中治療という四つの輪（鎖）から成り立っており、バイスタンダー、救急隊、そして医師や看護師が連携することにより救命効果が高まります。

平成27年中に救急隊が搬送した心肺機能停止（心臓及び呼吸が止まった状態）傷病者154人のうち、バイスタンダーによる心肺蘇生法が行われたのは102人で、このうち4人の方が社会復帰されました。突然の心肺機能停止傷病者には、バイスタンダーによる早期通報と心肺蘇生法がなされ、迅速に除細動が行われることが社会復帰に繋がると考えられます。

本市では「普通救命講習会」を毎月19日と第2日曜日に定期開催するとともに、会社、町内会、各種団体からの要望に対しても随時受け付けており、広く一般市民の方々に心肺蘇生法やAEDの使用方法を分かりやすく指導しています。この講習会以外にも、短時間で、かつ、小学生（中高学年）でも受講可能な「救命入門コース」があり、応急手当の普及に取り組んでいます。

救助件数

平成27年中の救助出動件数は70件（1ヶ月平均5.8件）となり、前年と比べ1件の減少となりました。

事故種別の内訳は、建物等による事故27件（38.6%）、交通事故25件（35.7%）その他の事故13件（18.6%）、の順であり、施錠されており建物内への進入が不可能など建物等による事故の出動が前年よりも16件増加しています。

また、救助人員については6人増加の57人となりました。

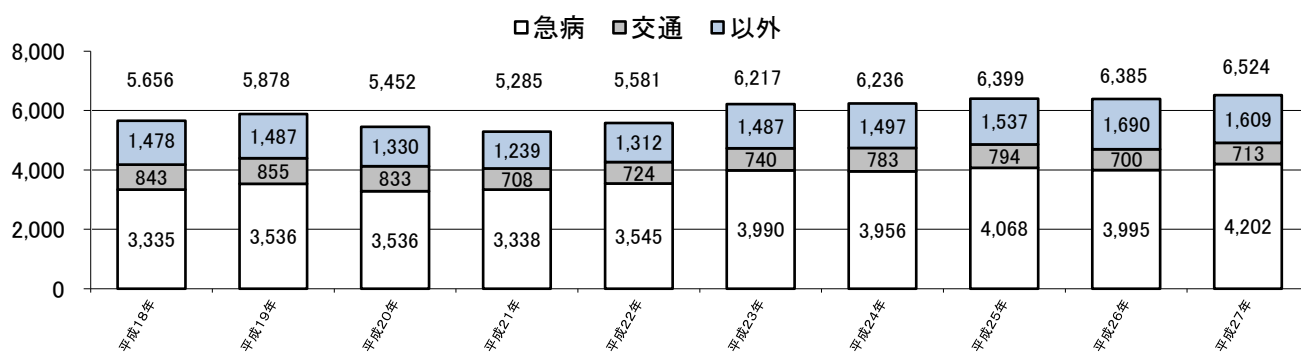
年別救急出動件数

(平成18年～平成27年)

事故種別 年別	出動件数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												小計	転院搬送	医師搬送	資輸機材等送	その他
18年	5,656 (34)	52		1	843 (21)	143	43	590 (1)	47	71	3,335 (12)	531	433	1	1	96
19年	5,878 (53)	36 (1)		1	855 (36)	119 (2)	38	613 (1)	50	65	3,536 (12)	565 (1)	481	2 (1)		82
20年	5,452 (37)	46			833 (28)	104 (1)	43	572 (1)	45	67 (1)	3,289 (6)	453	392			61
21年	5,285 (20)	39	1	2	708 (15)	74	41	591	24	72	3,338 (5)	395	324	1		70
22年	5,581 (23)	39 (2)		1	724 (17)	106	46	593	40	78	3,545 (3)	409 (1)	349 (1)		19	41
23年	6,217 (33)	47 (1)	2	2	740 (18)	97	73	685	24	71	3,990 (13)	486 (1)	402 (1)		22	62
24年	6,236 (43)	35		1	783 (38)	131	56	686	42	74	3,956 (4)	472 (1)	365	1	8	98 (1)
25年	6,399 (35)	38		2	794 (27)	147	36	701	38	62	4,068 (8)	513	409		8	96
26年	6,385 (45)	42 (1)			700 (23)	171 (2)	59	750	27	64 (2)	3,995 (16)	577 (1)	453 (1)	1	7	116
27年	6,524 (38)	30 (1)			713 (25)	131 (1)	75	741 (2)	24	65	4,202 (8)	543 (1)	410	1	1	131 (1)

※ () 内は、高速道路出動件数 (27年中出動件数 中央道10件・東名3件・名神15件・名古屋高速10件)

救急出動件数の推移 (平成18年～平成27年)



救急支援出動件数 (平成25年～平成27年)

年別	救急出動件数(救急車)	救急支援出動件数(消防車)	割合
平成25年	6,399件	1,742件	27.2%
平成26年	6,385件	1,619件	25.4%
平成27年	6,524件	1,577件	24.2%

年齢別搬送人員

(平成 27 年中)

種別 年齢・性別		合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	男	3,329	8			412	112	57	315	13	14	2,180	218
	女	2,839	4			292	17	22	388	8	28	1,881	199
	計	6,168	12			704	129	79	703	21	42	4,061	417
新生児 (生後28日未満)	男	7										4	3
	女	2											2
	計	9										4	5
乳幼児 (生後28日~6歳)	男	178	1			9			43			115	10
	女	153				8			50			89	6
	計	331	1			17			93			204	16
少年 (7歳~17歳)	男	159				36		37	40	1		43	2
	女	102				22		15	13			48	4
	計	261				58		52	53	1		91	6
成人 (18歳~64歳)	男	1,323	5			304	97	19	76	9	9	743	61
	女	915	3			170	14	6	60	3	20	564	75
	計	2,238	8			474	111	25	136	12	29	1,307	136
高齢者 (65歳以上)	男	1,662	2			63	15	1	156	3	5	1,275	142
	女	1,667	1			92	3	1	265	5	8	1,180	112
	計	3,329	3			155	18	2	421	8	13	2,455	254

傷病程度別搬送人員

(平成 27 年中)

種別 程度別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	106				4			3	1	9	89	
重症	461	1			24	9		26		9	317	75
中等症	3,137	3			282	66	29	327	6	17	2,104	303
軽症	2,464	8			394	54	50	347	14	7	1,551	39
その他												
合計	6,168	12			704	129	79	703	21	42	4,061	417

1. 死亡……初診時において死亡が確認されたもの。
2. 重症……傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
3. 中等症……傷病の程度が入院加療を必要とし、その期間が3週間未満のもの。
4. 軽症……傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
5. その他……診察拒否等、医師の診断がないもの。

医療機関別傷病程度

(平成 27 年中)

搬送先医療機関名			傷病程度 (搬送人員)	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
医療機関	市内	救急告示	小牧市民病院	4,404	77	329	2,189	1,809	
			小牧第一病院	273		10	133	130	
		非告示	その他の市内医療機関	14		2	4	8	
医療機関	市外	救急告示	春日井市民病院	811	14	47	442	308	
			さくら総合病院	450	15	42	246	147	
			その他の市外医療機関等	186		26	103	57	
		非告示		30		5	20	5	
合計				6,168	106	461	3,137	2,464	

過去5年間の救急救命士の運用に関する統計表

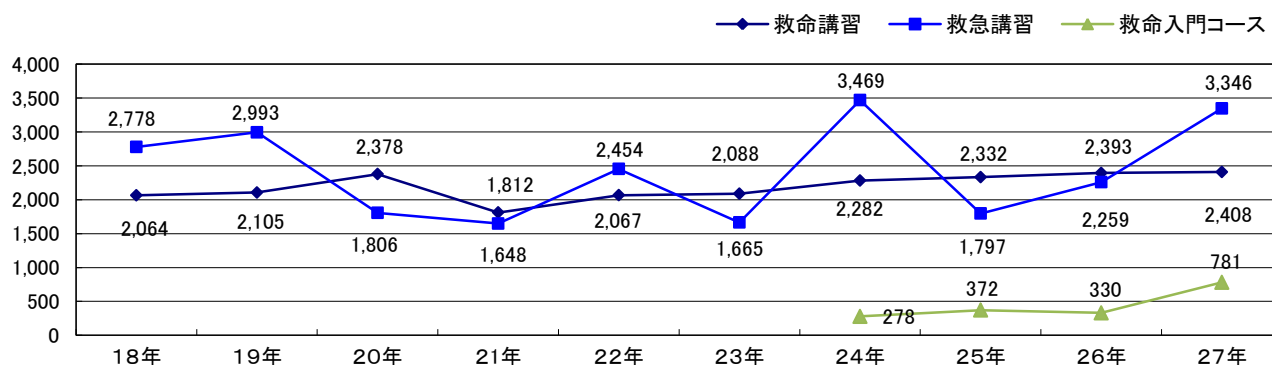
(平成 23 年～平成 27 年)

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
救急出動件数		6,217	6,236	6,399	6,385	6,524
救急搬送人員		5,840	5,845	6,035	6,022	6,168
運用救急救命士数		22	24	26	26	28
救急救命士出動件数		5,944	6,184	6,394	6,384	6,524
救急救命士搭乗率		95.6%	99.2%	99.9%	99.9%	100%
特定行為実施傷病者数		78	92	70	94	90
特定行為	器具による気道確保	70	82	66	88	85
	静脈路確保	16	24	15	24	19
	薬剤投与	14	19	12	19	15
	心肺停止前静脈路確保	平成27年4月から運用開始				11
	ブドウ糖溶液投与	平成27年4月から運用開始				8

※ 運用救急救命士数は暦年中に1日でも運用していれば数値に計上する。

※ 特定行為は傷病者1名に対して重複し行う場合がある。

救命講習等受講者数 (平成 18 年～平成 27 年)



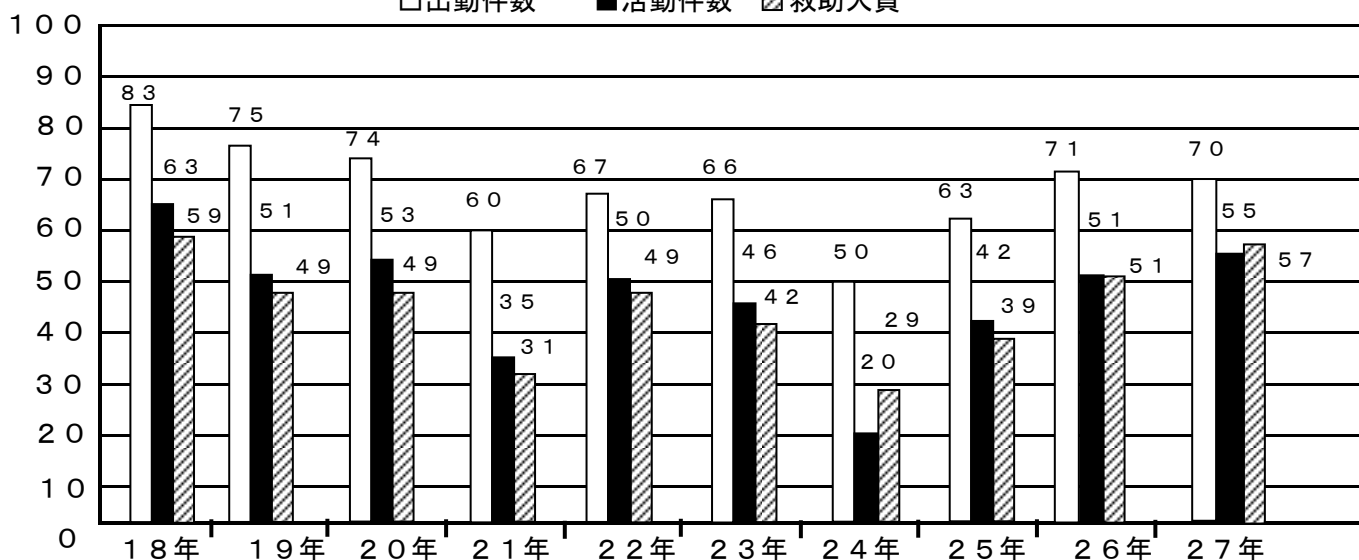
※ 救命講習とは、国の要綱に準拠した講習時間とカリキュラムで行うもの。(上級及び普通を含む)

救急講習とは、救命講習の要件を満たさないもの。

救命入門コースとは、対象者が10歳以上で、胸骨圧迫とAEDの使い方を習得することを目的とした90分のコース。

救助件数・救助人員 (平成18年～平成27年)

□ 出動件数 ■ 活動件数 ▨ 救助人員



事故種別	平成	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
火災	出動件数	15	4 (1)	6	2	4	5	1	4	4	5
	活動件数	15	4 (1)	6	2	4	5	1	4	4	5
	救助人員	6					2	9	3	1	
交通事故	出動件数	43 (4)	43 (7)	42 (8)	30 (4)	35 (4)	30 (4)	37 (3)	39 (3)	31 (5)	25 (3)
	活動件数	30 (3)	29 (6)	28 (2)	17 (1)	25 (3)	16 (1)	13	25 (2)	24 (4)	17 (2)
	救助人員	38 (2)	29 (7)	32 (3)	18 (1)	29 (3)	19 (1)	14	24 (2)	31 (8)	25 (4)
水難事故	出動件数	2	2		2		2	2	4		
	活動件数	2	2		2		2	1	3		
	救助人員	2	1		2		2	1	3		
風水害等 自然災害	出動件数				1	1					
	活動件数					1					
	救助人員										
機械等による事故	出動件数	6	9	2	3	5	4		2	5	
	活動件数	3	4	2		3	3		1	3	
	救助人員	2	7	2		3	3		1	3	
建物等による事故	出動件数	3	8	9	12	13	18	8	8	11	27
	活動件数	3	5	8	8	9	14	5	5	8	25
	救助人員	2	5	7	6	9	11	5	4	6	25
ガス及び 酸欠事故	出動件数				1	1	1			2 (1)	
	活動件数				1	1	1			1	
	救助人員				1	1				1	
破裂事故	出動件数										
	活動件数										
	救助人員										
その他の 事故	出動件数	14 (1)	9	15	9	8	6	2	6	18	13
	活動件数	10	7	9	5	7	5		4	11	8
	救助人員	9	7	8	4	7	5		4	9	7
合計	出動件数	83 (5)	75 (8)	74 (8)	60 (4)	67 (4)	66 (4)	50 (3)	63 (3)	71 (6)	70 (3)
	活動件数	63 (3)	51 (7)	53 (2)	35 (1)	50 (3)	46 (1)	20	42 (2)	51 (4)	55 (2)
	救助人員	59 (2)	49 (7)	49 (3)	31 (1)	49 (3)	42 (1)	29	39 (2)	51 (8)	57 (4)

※ () は当該数値のうち高速道路上の事故

救助出動状況

車両・人員数

(平成 27 年中)

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	風水 害等	機 械 等 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建物	建物 以外												
出動件数(件)	5			25					27				13	70
				(3)										(3)
出動車両(台)	42			99					93				48	282
				(15)										(15)
出動人員(人)	122			297					283				147	849
				(33)										(33)
活動人員(人)	65			179					182				55	481
				(27)										(27)

※ () は当該数値のうち高速道路上の事故

発生場所別件数

(平成 27 年中)

発生場所		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	風水 害等	機 械 等 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建物	建物 以外												
屋内	住居	5								23				3	31
	その他の屋内									2				2	4
屋外	高速自動 車国道				3										3
	その他の道路				21										21
	内水面				1										1
	外水面														
	山岳														
	その他の屋外									1					6
地下															
その他										1				2	3
計		5			25					27				13	70